

【令和8年1月19日（月）・1月21日（水）】

西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合に係る地域住民意見交換会（2回目） 議事概要

○意見交換会概要

会議等名	西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合に係る地域住民意見交換会（2回目）
日時	①令和8年1月19日（月）14：30～15：10 ② " 15：30～16：00 ③令和8年1月21日（水）15：30～16：00 ※14：30の回は参加者0人
場所	①②西浦南保育園2階 遊戯室 ③ 小鈴谷保育園3階 遊戯室
参加者	市民：①～③合計15名 常滑市：こども健康部長、こども保育課長 こども保育課指導主事、担当職員2名 西浦南保育園園長、小鈴谷保育園園長

○議事概要

1 開会

2 こども健康部長 挨拶

- ・ 市の児童福祉への協力を謝辞。
- ・ 令和6年11月に再編計画を策定し、西浦南保育園と小鈴谷保育園については「統合の方向」で検討。
- ・ 本日は「結論を出す場ではなく意見を集める場」であり、参加者のご意見をお聞かせ願いたい。

3 職員紹介

4 資料の確認

5 資料の説明

（1）常滑市立保育園・こども園再編計画（令和6年11月策定）

- ・ 公立園の老朽化、児童数減少、保育ニーズ多様化を背景に策定
- ・ 就学前児童数：西浦南保育園と小鈴谷保育園を合わせた入所児童数の過去の5年の推移 令和2年度145人→令和7年度110人（24%の減）
- ・ 西浦南保育園と小鈴谷保育園の統合後の園舎は「改修」または「移転新設」の両方を検討
- ・ 長期的方針として市内4中学校区ごとに公立園1園を維持

（2）西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合に関するアンケート調査結果

▷ 1回目（在園児保護者）回答率62.4%

- ・ 移転新設 49%
- ・ どちらかに集約 35%
- ・ どちらでもない・不明 16%

- ▷ 2回目（未就園児保護者）回答率 50%
 - ・ 移転新設 53%
 - ・ どちらかに集約 33%
 - ・ どちらでもない・不明 14%
- ▷ 主な意見カテゴリ
 - ・ 通園距離・通勤への影響（7件）
 - ・ 災害時の立地（7件）
 - ・ 施設老朽化への懸念（3件）
 - ・ 小学校隣接の利便性（4件）
 - ・ 駐車場確保（3件）
 - ・ その他：子どもへの負担、民営化不安、園庭確保 等

（3）想定スケジュール（案）

- ・ 移転新設の場合：方針決定後3年で新園開園
- ・ 既存園改修の場合：方針決定後3年で集約開始
※工期延長等で変更となる可能性あり
- ・ 耐用年数：新設はおおよそ60年、改修はおおよそ20年を目安

6 意見交換

①令和8年1月19日（月）14：30～／西浦南保育園

- ・ 今年度中の決定はあり得るか。
→（市）意見交換・説明会を踏まえて判断するため、今年度中に決まる可能性も、決まらない可能性もある。
- ・ 改修工事中の通園は可能か、安全面は
→（市）他園でも通園しながら工事した例があり、安全確保のうえ実施可能。
- ・ 60年の長期予測は困難ではないか。短期の様子見は？
→（市）長期予測は不確実で、集約という選択肢もあり得る。
- ・ どちらかの園に集約して、その後さらに閉園した場合、丸山保育園より南に公立園はなくなってしまうのか。
→（市）各中学校区ごとに1園公立園を残す方針でいる。
- ・ アクションプランの公開先を知りたい。
→（市）市ホームページで公開されている。「公共施設アクションプラン 常滑市」で検索すればヒットすると思われる。
- ・ 新設する場合の候補地はどこか。
→（市）南陵公民館周辺を候補として検討。両園の中間地点で、公共施設が集まっているため。
- ・ 新設する場合、予算を確保できるのか。
→（市）借入金・地方交付税等を活用し、財政負担を平準化する。

- 民間園介入の予定があるのか。
→（市）公立園としての新設を想定しており、現時点で民間介入は想定していない。
- 送迎バス導入の可能性はあるのか。
→（市）市内の公立園では前例がなく、この場では申し上げられない。

②令和8年1月19日（月）15：30～／西浦南保育園

- 予算確保の遅れでスケジュールが伸びる可能性はあるのか。
→（市）移転・新設／改修のいずれも予算を確保していく。予算不足による遅延は想定しておらず、財政担当と連携して進めている。
- 移転により遠くなるとお迎えが困難となる。他園へ入園が必要となるケースへの配慮をされたい。
→（市）新設する場合の候補地としては南陵公民館周辺として検討。両園の中間地点となるが、西浦南保育園からやや南側へ寄ることになる。
- 方針決定の期間はどのくらいか。
→（市）住民の納得を得ながら進めたいと考えている。令和7年度末（3月）に決定できるのが理想だが、遅くとも翌年度中には方針を固めたい。
- アンケート回答率について、5割は十分なのか。もっと回答数を上げる取り組みをする見通しがあるのか。
→（市）母数が少ないため5割では十分とは言えない。ホームページで意見投稿を可能にしようと考えている。

③令和8年1月21日（水）15：30～／小鈴谷保育園

- まだ方針が固まらない中で意見を出すのが難しい保護者が多い。
- 意見交換会は今後も継続して開催してほしい。
- 開催時間が保護者にとって参加しづらい可能性がある。
- 小学校統廃合も並行して検討されており、保育園だけでなく小学校も含めた広い視点での議論が必要だと思う。
→（市）学校教育課と連携していく。
- 費用面を踏まえ、期待を持たせすぎない透明な説明を要望
→（市）工事費の高騰も含め、費用情報は今後示していくことになると思う。
- アンケート設問について、「現状維持」の選択肢がなかった理由は。
→（市）「統合する」こと自体は再編計画で決定済みのため、選択肢には含めていなかった。
- 南陵地区での民間園誘致の可能性はあるのか。

- （市）現時点で具体的な計画はないが、市全体の園配置の中で将来的には検討の余地がある。
- 老朽化部分の修繕する内容を知りたい。
- （市）改修内容は、事前の設計の段階で見て、実施していくことになるので現時点では未確定。
- 個々の園で修繕したほうがコストを抑えられるのではないか。
- （市）新設は耐用年数がおおよそ60年、改修はおおよそ20年で、将来コストが変わってくるため、今後示していきたいと思う。
- 道路の状況や駐車場数から見ても、小鈴谷保育園の方が利便性が高い。
- （市）現時点で集約するかどうかは決まっていない。

7 連絡事項

- 今後、意見交換会等を開催することになったら、開催時期が決まり次第案内する。
- 今後の意見交換会の参考としたいためアンケートへの回答に協力されたい。